

学校名	〇〇立 〇〇高等学校	授業者	△△ △△	実施学年・組	□年 □組
使用教科書	〇〇(〇〇出版社)	補助教材	資料集 △△(△△出版社)		
単元名	B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち (1)主として法に関わる事項				
単元を貫く問い	法的主体などとしてよりよい社会の形成に参画することに向けて、私たちは法をどのように捉えればよいだろうか。				
本時の内容	新しい人権				
本時の主題	安全で豊かに生活するための権利の保障と対立する意見の公平・公正な調整				
本時の目標	安全で豊かに生活するための権利の保障をめぐる対立について、新しい人権の内容やその根拠となる憲法上の権利を基に、公共的な空間における基本原理やそれぞれの立場における幸福・公正を踏まえ、公平、公正な調整による課題解決の具体的な方策について多面的・多角的に考察する。				
本時の課題(問い)	安全で豊かに生活するための権利の保障について、どのようにすれば対立を公平・公正に調整することができるだろうか。				
評価の観点(本時の観点に○)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価の基準	公共的な空間における基本原理を踏まえ、幸福や公正の考え方を活用し、公平・公正な調整による課題解決の具体的な方策について多面的・多角的に考察している。				
評価の方法	ワークシート2の「3」における記述				

○授業の展開

※評価欄には評定に用いる評価を○ 学習改善に用いる評価を●で表記

分	指導内容	主な発問や指示	生徒の活動	指導上の留意点	評価の場面と観点				
					場面	知	思	主	
導入 15	新しい人権	<p>評価課題の提示</p> <p>発問1 新しい人権にはどのようなものがあるだろうか。また、それらは日本国憲法に定められているどのような権利を根拠としているだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい人権について、憲法の条文を参照しながら、ワークシートにまとめる。(個人の活動) ・まとめた意見の発表(意見の共有) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校で学習した内容を踏まえながら、環境権、プライバシーの権利、自己決定権について憲法に定められた権利と関連付ける。 	・行動観察				
	展開 20	異なる立場での幸福や公正と権利の保障	<ul style="list-style-type: none"> ・図の提示と説明 ・ワークシート1の配布 <p>発問2 図に示された人は、何を求め、こののちどのような行動を起こすと考えられるだろうか。また、その根拠となる考え方や権利は何だろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・配布された図のそれぞれの吹き出しにセリフを記入する。 ・図に示された人物は何を求めているのかを考え、予想される行動とその根拠となる権利について調べワークシート1へ記入する。(個人の活動) 	<ul style="list-style-type: none"> ・図に示された人物にとっての幸福とは何かを意識させる。 ・記入したセリフと考えた行動が対応しているかに留意する。 ・中学校やこれまでの学習において身に付けた知識を活用して考えさせる。 	・ワークシート1	●		
対立の公平・公正な調整		<p>発問3 対立を公平・公正に調整するためにはどのようにすればよいだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート2の配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの利害の調整や課題の解決の方法について考察し、ワークシート2にまとめる。(個人の活動) 	<ul style="list-style-type: none"> ・幸福や公正の考え方を活用し、対立の焦点となるものは何かについて考えさせ、どのような対立が起こり、自分は何を重視して課題の解決を図るかを明確にする。 	・ワークシート2		●		
交流による意見の調整		<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内での意見交流を指示。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート2をもとに、自らが考えた対立の構図について意見を交換する。(意見の共有・学習の調整) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の意見と対比させながら、自分であれば何を重視し、どのような調整を図るかを考えさせる。 ・異なる意見を自らの意見の調整に活用できるように留意する。 	・行動観察				●
まとめ 15	まとめ	<p>評価課題 安全で豊かに生活するための権利の保障について、どのようにすれば対立を公平・公正に調整することができるだろうか。</p> <p>◇本時の課題についてまとめよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート2への記入 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容や幸福や公正の考え方の活用を促す。 	・ワークシート2				○